

# 岐阜県の プラスチック

工業組合の第34回通常総会を開催。技能検定の合格率向上で事前講習  
『絶えざる変革こそ、勝ち残れる道…』来賓が激励  
講演・ジェトロの真家陽一氏を招いて『中国のビジネス事情』を聞く  
岐阜県が『科学技術基本戦略』を策定し、産学官連携で推進  
岐阜県の特許出願の伸びは全国6位。科学研究者数は全国21位  
組合青年部も総会を開催。9月の研修旅行は中国の華南へ  
事務局だより

新年度の事業計画や予算を承認した第34回通常総会



# 34年の基盤活かし新展開図れ

## 工業組合とデザイン協会の総会開く

### 厳しい中小企業経営の打開策を探る

岐阜県プラスチック工業組合は、5月18日午後、岐阜市内にあるホテルグランヴェール岐山で『第34回通常総会』と『プラスチックデザイン協会第40回通常総会』を開催した。工業組合の議題は①平成13年度の事業報告・収支決算②平成14年度の事業計画・収支予算③平成14年度の賦課金及びその納入方法について④平成14年度取引金融機関及び借入金最高限度額の承認 — など4議案で、いずれも原案どおり可決した。

なお、総会を記念して日本貿易振興会海外調査部・中国北アジアチームの真家陽一氏を講師に招き『中国のビジネス事情』について話を聞いた。（講演要旨は6～8頁）

#### 「実り多い総会にしたい」

通常総会は児玉副理事長の「実り多い総会にしたい」とする開会のあいさつで始まり、続いて大松利幸理事長が組合員を代表してあいさつ、また来賓を代表して高橋一吉岐阜県農林商工部商工局産業経済室長、森本安彦岐阜県中小企業団体中央会専務理事のあいさつがあった。

#### 「六つの変化に対応策を取れ」 大松理事長のあいさつ

大松理事長は「政府の景気底入れ宣言があったが業界には少しも実感は伝わってきてこない。これは経営環境がすぎましく変化しているからといえる」と前置きし、次の六つの変化を紹介



新年度総会でプラスチック業界の新方向を示唆する大松理事長

した。

『第一は、経営ツールの変化。昔は読み書きソロバンができれば経営ができたが、今やITネットを始めとする時代の先端に行く合理化マネジメントを活用しないと、経営はできない。第二は、ビジネスモデルの仕組みが変わってきたこと。経済の主導権は財閥から商社、卸問屋さらにはメーカーへと移り、現在は大手小売業が大きな力を持ち、今やメーカーは大手小売業

の下にいる。メーカーは製造した製品販売の仕組みを考え直さねばならなくなっている」。

「第三は、デフレの影響が根強いこと。景気の底入れ宣言が出て実感が伴わないのは、企業収益が減少し、生活のもとになる収入が減るなど、デフレによる不安要因は増えるばかり。製造メーカーは作っても値段は叩かれ、量は出ても売り上げ額は減り、しかも収益は出てこない。デフレの止まる日を待ち望んでいる。第四は、会計処理が時価会計になったこと。2005年には減損会計をやらねばならなくなり、多くの会社はバランスシート（財務諸表）が崩れていくのではないかと。この会計処理で、もし債務

超過になれば銀行は金を貸してくれなくなり、企業は大変なことになる」。

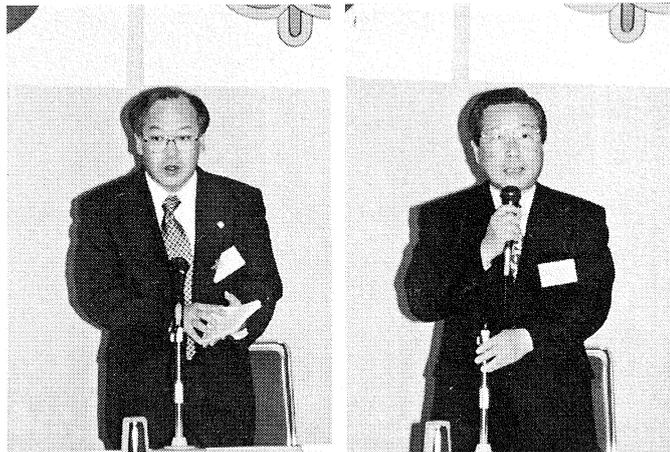
「第五は、中国経済の台頭である。中国の産業経済の行方とその影響はどのように判断すればよいのか。幸い総会の記念講演で、中国のビジネス事情を聞けるので判断材料にしたい。第六は、経済のグローバル化が押し寄せていることで、国際化の波については説明するまでもないことだ。こうした六つの変化は、経営環境を一層、厳しくすることに間違いはない。成形加工業界は手を携え、変化に対応した新しい仕組みづくりを確立して、新しいビジネスチャンスをつかみ、前進するより他に道はない」。

## 「絶えざる変革こそ勝ち残れる唯一の道」

高橋・県産業経済室長ら来賓が組合員を激励

工業組合は総会に岐阜県関係者ら多数の来賓を招いた。このうち高橋・県農林商工部商工局産業経済室長と森本・県中小企業団体中央会専務理事の二人から激励の祝辞をうけた。

高橋産業経済室長は「業界の限らない発展を期待している」とのべた後、「県内地場産業を取り巻く情勢は、依然厳しい状況におかれている。県は平成14年度の地域経済対策として供給力の強化、需要の拡大、雇用の確保を柱に中長期的な施策と、中小企業・地場産業を支える短期・即効的な施策の両面から取り組んでいく。具体的には中小企業者への金融支援、県産品の消費拡大、ITによる産業の情報化、デザイン力の強化などに力を入れて地域経済の活性化をめざす。どうか県施策の活用と組合員相互の連携により、大きく飛躍されることを期待する」と長屋栄農林商工部商工局長のメッセージを代読した。



あいさつする来賓

続いて森本中央会専務理事は「中小企業は景気が悪くなるとすぐ影響を受け、また底入れ宣言が出てなかなか良くなる。これは中小企業の宿命であり、勝ち残れる道は、絶えざる変革以外にないと思う。20世紀に人間の寿命は40歳から80歳へと伸び、21世紀はヒトゲノムの解析により160歳まで伸びるといわれる。生命科学の進展によるもので、改革こそ新しい分野を切り開いていけると思う。創立34年の基盤を活かし、新しい展開を期待する」と話した。

# 新年度事業計画 予算などを可決

予算総額は特別事業を  
含めて 2,123 万円

総会議事は最初に①平成13年度の事業報告、総額2,129万余円にのぼる平成13年度決算②9項目、18事業にのぼる平成14年度の事業計画と総額2,123万円の事業予算③平成14年度の賦課金及び納入方法④平成14年度の取引金融機関及び借入金最高限度額 — の議案説明と審議の後、いずれも原案どおり可決した。

## 検定合格率向上へ事前講習会開催

〈指導教育事業〉①前年度と同じく国、県、中小企業団体中央会、その他産学官等の関係機関と連携を図りながら組合員のための研修会、講演会、セミナーを積極的に推進していく。

②技能労働者の技能向上のため技能検定の受験を推進し『プラスチック成形射出成形作業』『プラスチック成形用金型製作作業』『プラスチックブロー成形製作作業』の実技検定試験を委託実施する。

③技能検定試験の合格率向上のため事前に各検定職種の特設講習会を実施する。

- ④研修講演会を開催する。
- ⑤プラスチック廃棄物処理検討委員会を随時開催する。
- ⑥中小企業雇用促進PR事業を行う。
- ⑦先進企業の視察研修及び技術専門展示会、見本市を視察する。
- ⑧インターネットホームページのリニューアル作成事業を実施する。
- ⑨ISO9001及び14001の取得に向けて説明会等を開催する。

## 労働保険の事務代行をさらに促進

〈情報提供事業〉①例年どおり会報『岐阜県のプラスチック』を年6回発行し、組合員に必要な経済・業界情報を提供する。

②国、県、各団体等からの情報を組合員へ提供する。

〈共済事業〉組合員に対し、低廉な薬品等の購入斡旋を行う。

〈金融事業〉県、政府系金融機関等が実施する運転・設備資金の融資および各種中小企業制度融資を組合員に周知し、指導、斡旋事業を実施する。

〈事務代行業〉組合員の労働保険業務を組合員に代わって業務を行う。また、勤労者福祉を支援し、労働保険未手続き事業所の適用促進

ポリエチレン

**スミカセン**®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

**エバテート**®

ポリプロピレン

**住友ノーブレン**®

ポリスチレン樹脂

**エスブライト**

塩化ビニル樹脂

**スミリット**®

メタクリルシート

**スミペックス**®

メタクリル樹脂

**スミペックス-B**®

高密度ポリエチレン

**スミカセンハード**

熱可塑性エラストマー

**住友TPE**

合成ゴムSBR

**住友SBR**

合成ゴムEPR

**エスブレン**®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

**スミグラフト**®



**住友化学工業株式会社**

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571



乾杯、総会後に開いた懇親パーティー

を図る。

〈調査研究事業〉 変革する社会情勢の中で適切な情報や施策を提供するため、必要な調査・情報の収集をする実施する。

〈人材高度化訓練運営事業〉 継続事業の最終年度であり、技能労働者のさらなる技能向上をめざして実施する。

〈福利厚生事業〉 組合員の親睦交流・連携を図るため①組合員の健康づくり親睦ゴルフ大会及びボーリング大会②組合員の慶弔見舞い——などを実施し、組合の円滑な運営と組織の強化・活性化を図る。

〈定例役員会の開催〉 隔月に定例役員会を開催し、組合が懸案する事業・問題を処理、また役員間の情報交換等を行うなど、円滑な組合運営を図る。

### プラスチックデザイン協会も総会

講習会や研修会などへの参加

工業組合の総会に続いて岐阜県プラスチックデザイン協会も通常総会を開き、平成14年度の事業計画と予算を決めた。

年間予算は20万円で、事業は①デザイン講習会1回②デザイン関係の資料配布、年間2～3回③岐阜県デザイン振興会主催の各種デザイン

関係の研修会、講習会、セミナーなどへの参加  
④新たな商品開発の促進—を予定している。

## 9月に中国研修旅行

強固な青年部活動を確立

青年部の新年度事業計画

工業組合の青年部は5月25日、岐阜市内のホテルグランヴェール岐山で古田博康部長ら部会員が出席して第21回通常総会を開き、新年度の事業実施計画を決めた。

新年度の活動目標は『①会員の交流・連携により強固な青年部活動の確立②魅力ある事業実施による参加率の向上』に置き、次の事業を実施していく。

事業は隔月に行うことにしており、7月は研修会、9月は海外研修旅行、11月と平成15年3月は講演会、平成15年1月は新年互礼会として開催する。年間の事業予算は393万円を予定し会費、親組合からの助成金である。

青年部が9月に予定する海外研修旅行は、中国・華南を予定し、準備を開始した。その準備段階として、3月16日、日本貿易振興会海外調査部・中国北アジアチームの真家陽一氏を招き『華南（香港、深圳、広東）のビジネス事情』について話を聞いた。

総会記念講演の講演要旨

## 対中国ビジネスは共生の精神で 講師はジェトロの真家陽一氏

工業組合はホテルグランヴェール岐山で開いた通常総会后、講師に日本貿易振興会（ジェトロ） 海外調査部・中国北アジアチームの真家陽一氏を招いて記念講演会を開催した。

講師は銀行国際部を経て貿易振興会でアジア経済専門に担当してきた人。その講演テーマは『中国のビジネス事情』で①中国のWTO加盟②中国ビジネスの問題点と対応③中国のプラスチック産業——で、台頭する中国ビジネスの最新の動きを紹介した。

講演の中で真家講師は「中国は世界の工場として台頭著しいものがあるが、今後の日本企業は単なる投資や工場進出の対象ではなく、中国経済との共生を考えたイコール・パートナーとしてビジネスを進めなければ成功しない」と強調した。（次は講演の要旨。写真は講演する真家講師）



### WTO加盟で変わる中国貿易

○…中国経済の躍進ぶりと、そのアジア経済への影響はすざましいものがある。中国の存在が高まるにつれ、最近、日本の産業界から中国脅威論が叫ばれるほど。しかし、日本企業がアジアと共生する中で生き残ろうとするなら、中国経済の実情と産業の動向を正しく把握する必要がある。

中国経済の最大の動きは、昨年12月のWTO（世界貿易機関）加盟。加盟によって中国は関税率引き下げ（段階的に）はもちろん、物品貿易、サービス貿易の各面にわたる市場経済開放への措置を合意している。中国自身のメリットは①国内経済の改革開放による市場経済化の促進②加盟国からの最恵国待遇獲得など貿易環境改善による輸出拡大③投資環境改善による外国企業の直接投資——など。

一方、デメリットは①市場開放に伴う国内産業への打撃、産業の再編、失業者の増加②国際収支悪化とデフレ傾向の強まり③義務不履行の場合に他の加盟国からの対抗措置——がある。

### 対中国ビジネス拡大のチャンス

○…日本など中国に対するビジネスチャンスとリスクはどうなのか。ビジネスチャンスとしては①関税引き下げにより対中輸出の拡大、進出企業にとっては生産コストの低減②非関税障壁（数量制限など）の撤廃による対中輸出の拡大③国内販売権が段階的に開放され、国内販売のチャンス拡大——など。リスクは①外資との競争激化に伴う国内批判で、約束事項を順守できなくなる可能性。投資ブームの反動②法制

度の確立まで時間がかかる。外資優遇制度の見直しの可能性③外資系企業の進出増加による中国国内の競争激化——などが予想される。

さらに事業活動に与える影響を中国進出企業に聞いてみると「どちらかというプラスの影響が大きい」が57.1%もあった。具体的な影響としては、関税引き下げによる輸入調達コストの削減、国際ルールに基づく法律・制度・政策の実現が半数を超えるなど、WTO加盟による事業環境向上への期待が大きかった。

### 進出には経営者自ら陣頭指揮を

○…中国のWTO加盟が日本企業に与える直接的な影響は、当面少なく、大きな変化はないと見てよい。中長期的には、地理的な近さや経済構造の補完から総じてビジネスチャンスをもたらすと予想される。そこで中国ビジネスの問題点と対応策を探ってみると。

投資先の選定に当たっては、決定までのプロセスに経営者自ら陣頭指揮すること。また、優遇措置を比較検討するほか、雇用面、港湾や交通インフラ、電力や水などの環境面の検討はとくに欠かせない。進出形態は、合弁、合作、独資（単独投資）があり、ビジネスの形態と目的によっては独資と合弁を使い分ける企業が多い。最近では現地企業との合弁の難しさから独資による進出ケースが多い。

販売面では内販の場合、販売チャネルが大きなポイント。市場セグメントも重要で、中国はひとつと見てはいけぬ。中国は広く、多民族

の国家、例えば華南経済圏、華東経済圏はそれぞれ別の市場と見なければならぬ。

### コスト削減で現地の管理職採用

○…雇用・労務管理面では、優秀な従業員、コストパフォーマンスが良く、質の良いワーカーをどう確保するかという点が大きな問題。ワーカーは地方出身の出稼ぎ者と現地の通勤者に分けられるが、地域により違いがある。華南は出稼ぎ者が圧倒的に多く、華東は一般的に自宅から通勤する人が多い。進出企業には駐在員の派遣コストを削減するため、現地で管理職を採用または養成するコースが増えている。

法務対策はどうすればよいか。中国は「法治国家」ではなく「人治国家」といわれるが、実際には非常に詳細な法令や条例、規約が存在する。さらに地方の行政単位、市政府レベル、鎮政府、区、町、工業園地（工場団地）レベルにも非常に細かな規則がある。担当者の一人や二人で、条文を理解することは不可能に近い。

### 代金回収を確実にする手段作り

○…税務対策も同様で、進出にあたって専門家を養成する必要がある。外資系企業に対する法人税軽減などの優遇措置は、WTO加盟を受け、一部変更や撤廃される可能性がある。資金環流の面では、国内販売で代金回収が問題となる。前金や現金決済などの代金回収方法を確実にするビジネスモデルを、構築しておくことが大切である。WTO加盟後の中国では、物を売

中国プラスチック原料の構成と需要予測

| 合成樹脂品種 | 年間生産量実績 |       | 需要予測量 |       |
|--------|---------|-------|-------|-------|
|        | 1994年   | 1999年 | 2005年 | 2010年 |
| PE     | 281     | 566   | 948   | 1,479 |
| PP     | 265     | 418   | 730   | 1,176 |
| PVC    | 191     | 372   | 611   | 978   |
| PS     | 93      | 360   | 361   | 530   |
| ABS    | 12      | 143   | 217   | 329   |
| 合計     | 842     | 1,860 | 2,867 | 4,492 |

(単位：万トン)

るビジネスチャンスが大きく開けるものの、中国企業で良い経理担当者とは「金を払わないことに苦心する人」が良い経理マンというから日本の場合とは大きく違う。

どの対応策とも関連することは政商関係。中国側の担当当局との折衝や交渉、担当者との関係づくりという意味で、台湾企業は非常に重視している。パイプづくりというと紅包（賄賂、袖の下）を連想してしまうが、日常業務のコミュニケーション窓口を設けることを考えたい。

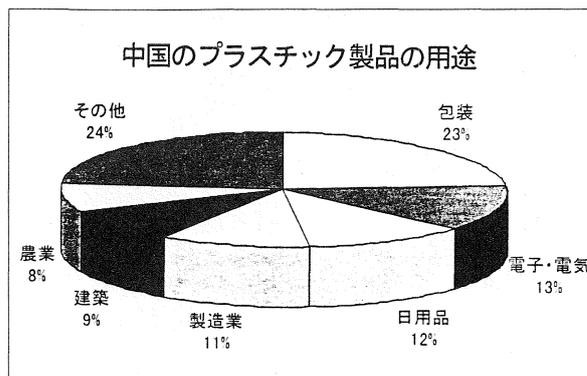
### 総加工能力は2千万トンに達す

○…最後に中国のプラスチック産業を見てみよう。99年の中国のプラスチック生産量は871万1,000ト、生産額は1,623億1,400万元（約2兆6千億円）で、今日の総加工能力は2,000万トンに達しているという。企業数は約2万3,000社。このうち中小企業の占める比率は約80%、外資系企業数は、約2,600社ある。

中国のプラスチック製品の用途は、包装、電子・電気、日用品（靴類、玩具、家具など）製造業（交通輸送、設備部品類、医療機器など）建築、農業などである。

品種別の生産概況をみると、薄膜類製品メーカーは約3,000社あり、年間生産能力は220～250ト、年間生産能力が1,000ト以上の企業は約500社にのぼっている。プラスチック管材（PVC・U管、ポリエチレン管、ABS管など）の総生産量はすでに100万トンを達成している。人工皮革や発泡プラスチックを製造するメーカーは2,984社。自動車および家電製品業界は、大量のプラスチック部品を使用し、製品の付加価値は高く、この分野のプラスチック使用量は30数万トである。

○…中国プラスチック産業が使用している主要原料樹脂は、図表（前頁）のようにPE、P



P、PVC、PS、ABSなどの樹脂が中心で、99年の生産量は1,860万トに達している。

90年代以後、中国のプラスチック機械設備生産は年率22%増、企業数は600社以上、就業者数は15万人、年間生産台数は10万台以上といわれる。その機種は原料混合設備、射出成形機、引き抜き生産ライン（押出機？）中空成形機、圧延生産ラインなどの加工設備が中心である。

プラスチック製品の輸入量は、低下傾向にあり、99年までの5年間は年平均伸び率-0.3%一方、輸出は急増の一途にあり、年平均伸び率は15.3%と、驚異的な伸びをみせている。

### 製品は汎用品が多く、低稼働率

○…プラスチック産業の問題点は①製品が中低級品に偏り、汎用品が多い、業界全体に稼働率が低いなど産業構造の不合理性②いぜん装置・設備水準が低い③企業規模が小さい④技術力が低く、製品開発力に劣る⑤廃棄物処理が問題となり再利用方法の開発が急がれる——など。しかし、05年までの5年間の成長率は10%、製品生産量は2,500万トに達し、15年にはその2倍になるとみられる。

プラスチック加工業の団体として「中国プラスチック加工業協会」が活動している。中国プラスチック業界における唯一の管理機関で、工程、波紋、低発泡板材、製品標準化技術の4委員会を設置している。（詳細資料は組合まで）

# 産学官の連携で独創技術の育成を図る

岐阜県が『科学技術基本戦略』を策定

岐阜県は、このほど科学技術政策に関する新しい『科学技術基本戦略』を策定した。平成9年に研究開発をめざして策定した科学技術基本戦略を改定したもので、今回は産学官連携を強く打ち出しロボット、バイオテクノロジー、リサイクル技術、マイクロ波利用技術、クリーン農業とブランド品種、福祉用具・家具、ナノテクノロジーなど七つの重点研究分野を掲げ、実用化方針を示している。

## 研究開発の成果を産業界で実利用

新戦略の基本目標は「研究開発立県の形成」におき、これまでの5年間で進んだ研究開発拠点や研究機関の体制基盤に加え、岐阜発のオリジナル技術を育て、産業界で実利用する次のステップをめざしている。

さらに基本戦略では「産学官連携」を中心に位置付け、県と大学が産業界などの民間活力を

引き出す両輪としている。このため岐阜県は連携のための環境の整備、民間では取り組み困難な総合福祉、環境、産業基盤技術などの分野も推進していく方針である。

## ネットワーク連携など7施策推進

岐阜県が行なう科学技術振興施策としては、7つを重点施策としている。新たな視点で進める施策は①ネットワーク連携型研究体制の推進②重点化した研究開発の推進③研究開発と技術支援における実用化の追求（県の各研究機関）——の3施策をあげている。

また、引き続き中長期の観点から進める施策としては④科学技術政策の立案機能の強化⑤インフラ（研究開発拠点等）の整備⑥優れた科学技術関係人材の育成・確保⑦科学技術振興のための環境づくり——の4施策をあげている。

## 違反行為は25.5%に

### 下請代金法の特別立入検査結果

中小企業は「緊急下請取引適正化対策」の一環として、昨年11月から今年3月にかけて実施した『特別立入検査』の結果を発表した。それによると特別立入検査は149件実施し、うち「下請代金支払遅延等防止法」の違反または違反の恐れがある行為という「違反行為等」は38件で、検査した全体の25.5%も占めた。

比較的に多いのは①『下請代金の支払遅延』が22件（検査対象の14.8%）②『下請代金の減額』14件（同9.4%）③「受領拒否」10件（同6.7%）など。ついで「早期相殺」「長期手形

交付」「返品」などで「購入強制」や「報復措置」はなかった。

中小企業庁は、違反等が認められた企業に対して改善指導を実施する。また、これらの企業の中で、下請代金法第4条に基づき、前回の立入検査結果と同一類型の違反行為等を行なった企業、前回に比べて違反行為類型が増加している企業、合わせて8企業には嚴重注意する一方改善報告書の提出を求めた。

この特別立入検査は、従来、定期的に行なっている下請代金法に基づく立入検査に加え、リストラ進展による下請中小企業から行政への相談が急増している一般機械、電気機械、家電、輸送用機器の業種を重点的に行なった。

# 特許出願の伸び全国6位 科学研究者数は全国21位

岐阜県の科学技術白書まとまる

岐阜県はこれまで取り組んできた開発プロジェクトや研究成果、活動実績として『岐阜県科学技術白書』をまとめ、発刊した。白書は科学技術基本戦略をはじめ県内における産学官の研究開発成果を紹介しているが、中でも「オンリーワン・ナンバーワン製品・技術」「特許出願数の伸び」「製造業の分野別研究者数」など興味ある内容を紹介している。

## 全国に誇れる製品・技術は285件

「オンリーワン・ナンバーワン製品・技術」は、国内で業界屈指のシェアをもつ製品、また他ではあまり見られない特殊な製品・技術をさすもので、岐阜県製造業の誇りともいえる。

所有する製品・技術を業種別に見ると、主要14業種のうち金属製品製造業51件がトップ、次いで一般機械器具製造業46件、窯業土石製品製造業30件、プラスチック製品製造業26件にのぼっている。

これらの優れた製品・技術は調査の結果14業種全体で285件が明らかになった。プラスチック・ゴム製品製造業関係の主なオンリーワン・ナンバーワン製品・技術は次のとおり。

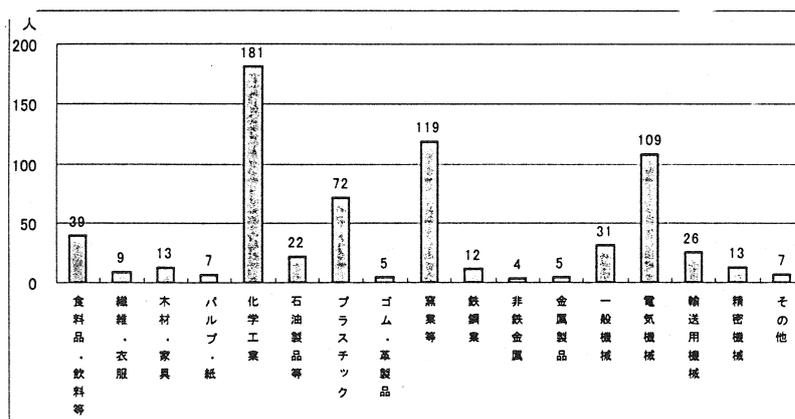
◇モノフィラメント用巻取ボビン・タイヤコード燃糸用ボビン・製紙用コア・耐水圧用フロート・摩擦溶着技術◇ガスロンパイプ◇麺容器等食品容器・電子部品パッケージ◇更生タイヤ◇硬質塩化ビニル管継手◇給水給湯用断熱被覆ポリエチレン

管・断熱被覆銅管◇育苗用プラスチック鉢◇カップ定置印刷成型技術・小穴加工技術・高速プレス技術◇水道管ポリエチレン二層管◇2色プラスチック成形◇折り畳みコンテナ◇ステッチボンド不織布◇プラスチックボックスわさび製造装置◇EGフレックス看板◇ブロー成形技術による合成樹脂容器◇SNコンテナ・ジャンボックス◇縫糸用樹脂ボビン◇草刈り用ナイロンコードカッター◇食品模型・軟質アクリル製造技術・蒸気発生装置◇強化プラスチック車両部品◇三次元パネルフィルム・光拡散及びその製造方法◇大型免震ゴム支承◇ポリエチレンフィルム◇ウレタン樹脂製建築配管用保温材・自動車用緩衝材◇タイヤ成形・ビートワイヤー◇洗浄装置ボディ——など。

## 年間の特許出願件数は2,375件

岐阜県内企業の平成12年における特許出願数は2,375件となり、6年前に比べ1.74倍に増えている。平成9年までは年間1,500件前後であったが、平成10年から出願件数は急伸した。伸び率は全国6位で県では「基本戦略を導入、科学技術の振興に努めてきた成果」としている。

平成7年の国勢調査による岐阜県内企業の科学研究者数は、1,447人で全国の0.8%（21位）であった。プラスチック業界関連は72人。



岐阜県製造業における業種別研究者の人数

## 事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□総会出席ありがとうございました□

さる5月18日、ホテルグランヴェール岐山で開催しました新年度総会へのご出席ありがとうございました。議事は2～5ページに紹介しましたとおりで、年間の事業・予算とともに原案どおり可決していただきました。また、記念講演の要旨は6～8ページに紹介しました。

事業の実施にあたりましては、より充実した内容に盛り上げて進行していきますので、一人でも多くの参加とご協力をお願いいたします。

□退職前後の諸手続きで研修会開催□

岐阜県公共職業安定所は、7月19日午後1時30分から県民ふれあい会館で、在職中の中高齢者を対象に「職業生活設計支援セミナー・退職前後の諸手続き」を開きます。



記念パーティーの最後は全員で一本締め

### 岐阜県のプラスチック 2002年 第165号

平成14年5月30日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
(岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

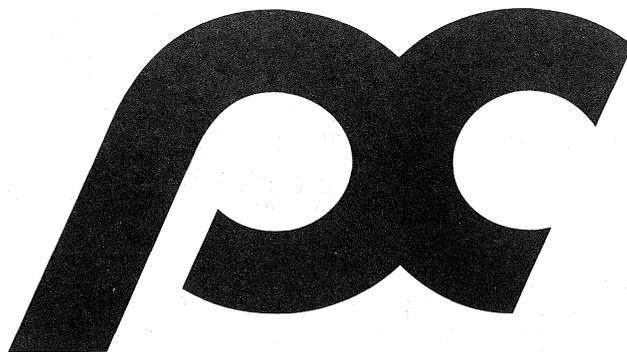
FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 高坂 貞夫

# 創世ポリケム・パワー

質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニー



三菱化学と東燃化学との創造的な出会いから生まれたポリケムは、平成8年9月、質を創るトータル・ポリオレフィン・カンパニーをめざしスタートしました。ポリオレフィン樹脂のスペシャリストとして、国内では最大、世界でも有数の規模を誇るポリケムは、四日市・川崎・水島の3技術センターのそれぞれの特長を活かし、多種・多様で高品質のポリケム・バリューをお届けしてまいります。

技術と信頼の証 **ノバテック**  
NOVATEC

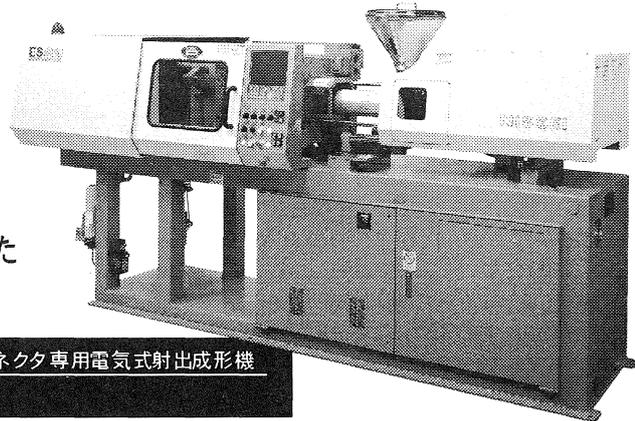
NOVAは「新星」。  
ポリケムは、常に先進の技術革新に取り組み、最新・  
最良の品質のポリオレフィン樹脂「ノバテック  
(NOVATEC)」をお届けします。

|                 |          |
|-----------------|----------|
| 高密度ポリエチレン       | ノバテックHD  |
| 低密度ポリエチレン       | ノバテックLD  |
| 直鎖状低密度ポリエチレン    | ノバテックLL  |
| 直鎖状低密度ポリエチレン    | ノバテックC6  |
| エチレン-酢酸ビニル共重合樹脂 | ノバテックEVA |
| ポリプロピレン         | ノバテックPP  |

**PC** 日本ポリケム株式会社 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル 〒100  
TEL 03-3287-8010 FAX 03-3287-8040

# 先進の高機能 NISSEIの 射出成形機

世界に先駆けて電気式射出成形機を開発した  
NISSEIのエレクトロテクノロジー。



狭ピッチコネクタ専用電気式射出成形機

NISSEIは、  
射出成形機・金型・金型製作ソフト・  
成形支援システムの総合技術力で  
お応えします。

射出成形機・金型・金型製作ソフト・成形支援システム

# NISSEI®

日精樹脂工業株式会社

■名古屋営業所・テクニカルセンター/〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 ☎(0568)75-9555(代)

■岡崎出張所/〒444-0858愛知県岡崎市上六名4-1-8三剛ビル1F ☎(0564)52-1430

■三重出張所/〒514-0824三重県津市神戸横田203-4 ☎(059)224-0716

■本社・工場・技術研究所/〒389-0693長野県坂城町南条2110 ☎(0268)81-1050(営業部)

●http://www.nisseijushi.co.jp

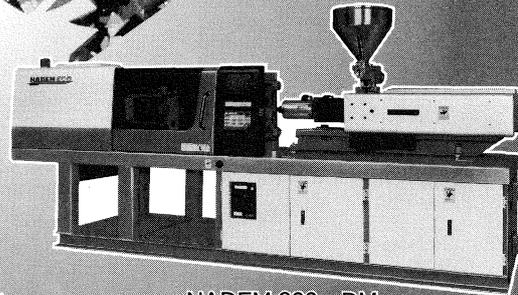
# 殻を破った!

## 直圧式電動射出成形機

### NADEMシリーズ

直圧式型締機構とダイレクト駆動で  
「電動」がさらにレベルアップ。

- 画期的な直圧式型締機構。  
(特許出願中)
- ACサーボモータによるダイレクト駆動で応答性の極限値を達成。
- 特殊装置による背圧制御で、  
低圧域の精度を高め、ロードセル  
の長寿命化を実現。(特許出願中)
- コントローラは高応答、高操作性  
を追求して開発した、専用の「VISTAC-α」を搭載。



NADEM 800=DM  
(型締力800 kN)オプション装着機



株式会社 名機製作所  
http://www.meiki-ss.co.jp

本社・工場 〒474-8666 愛知県大府市北埜町大根2 ☎(0562)48-2111(代)  
中部支店 〒474-8666 愛知県大府市北埜町大根2 ☎(0562)47-2391(代)  
岐阜出張所 〒501-6001 岐阜県羽島郡岐南町上印食8-104 ☎(058)247-2674(代)

# 化学の、もっと大きな可能性へ。

私たちがめざすのは、新しい時代の化学会社。

よりグローバルに、よりダイナミックに、もっと大きな可能性を求めて、

三菱化学は世界の期待に応えます。

## 三菱化学

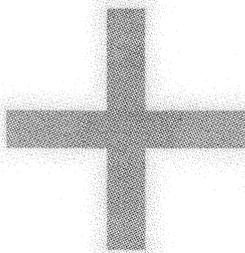
三菱化学株式会社 東京都千代田区丸の内2-5-2 〒100(三菱ビルディング) Telephone: 03-3283-6274(ダイヤルイン)

# ShinEtsu

## 信越シリコーン

# またひとつ、新機能。

[プラスアルファ]



### ヒラメキを糧に新たな機能をプラス

### 信越シリコーン

「こんな素材があったらいいのに!」「こんな機能をプラスできれば!」…そんないくつかのヒラメキに出会い、信越シリコーンはこれまでとは違う個性を持つ、新しい機能を付与した高機能シリコーン製品を開発してきました。これからも、さまざまなご要望にお応えし、お客様の製品に+αの付加価値をつけるシリコーンを提供してまいります。

【新しい機能で製品に付加価値をプラスするシリコーン】

#### ■ 樹脂改質用シリコーン

オイル、パウダー、シランカップリング剤、レジンなど。樹脂に潤滑性・耐摩耗性、耐衝撃性・難燃性・成形性などの付与に  
\*取り扱いが容易で分散性に優れたシリコーンマスターベレットもあります。

#### ■ シリコーン離型剤

オイル、ペースト、エマルジョン、スプレーなど。  
離型性はもちろん、つや出し、表面保護、潤滑性向上などに

#### ■ シランカップリング剤

合成樹脂、塗料、接着剤などの機能向上に

#### ■ シラン

セラミックスの合成、無機物質の表面改質、樹脂改質などに

## 信越化学工業株式会社

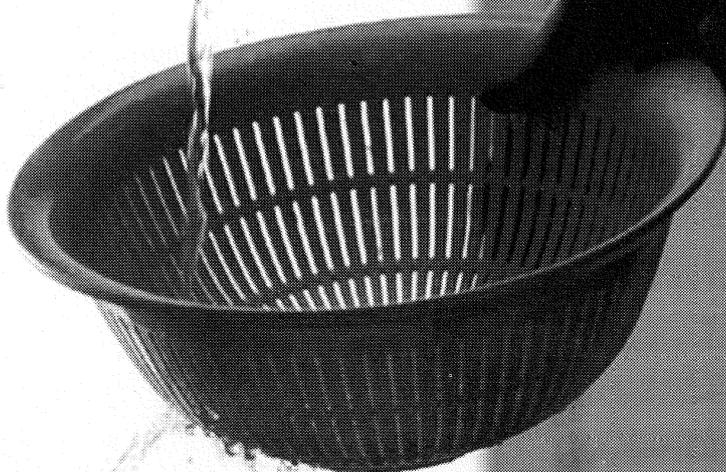
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル東館  
名古屋支店 シリコーン部 (052) 581-6515

くらしのこだわり...

HOME &  
HOME

-RISU BASIC-

リス株式会社  
CROISSANTE



より洗いやすく、より快適に。

キッチンウエアはいつも清潔にしておきたい。

そんな要望にお応えして、リスは「より洗いやすい」形状と素材を開発しました。

キッチンウエア  
3つの Point

ポイント  
2

洗い易いかたち

余分な凹凸を無くし、洗淨がラクラク

ポイント  
1

汚れ防止加工

台所の汚れが付きにくく落ちやすい  
特殊加工の素材を使用しています

ポイント  
3

抗菌 めめり防止加工

半永久効果持続、無機系抗菌剤だから安心

リス株式会社

岐阜プラスチック工業株式会社

岐阜プラスチックグループ

●本社：岐阜市神田町9丁目25番地  
TEL：<058>265-2233

●リスパック株式会社 ●リスエンジニアリング株式会社  
●リス株式会社  
●リス興業株式会社